

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 平成27年6月24日（水）
午後1時30分～午後2時16分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 説明員 総務部長奥村邦夫、健康福祉部長森山 稔、建設部長西垣正則
消防長今枝幹夫、教育子ども未来部長山田日出雄
行政課長中村定秋、同主査吉田ゆたか
都市整備課長高橋 太、同主幹村瀬雅省、同主査井手上豊彦、

6 事務局出席者 議会事務局長尾関友康、同主査田島勝己

7 議長あいさつ

8 総務部長あいさつ

10 報告事項

(1) 6月定例会中における追加議案について

各部長から議案について順次説明した。

(北島藤島線街路改良工事は建設部長、給食センター関係は教育子ども未来部長)

塚本秋雄議員：新学校給食センターについて、最初の議案における入札参加業者は5社と報告があったが、2番目以降の議案は何社であるのか。

教育子ども未来部長：2番目の議案は5社、3番目の議案は13社、4番目の議案は10社、5番目の議案は3社です。

塚本秋雄議員：参考までに請負契約の入札であるので、入札業者の一覧はオープンになっていると思うが、本会議までに用意してくれるのか。

行政課長：契約案件につきましては、通常本会議当日に入札執行調書を議席に配布させていただくことで資料の提示をしております。今回も同様にさせていただきたいと考えております。

相原俊一議員：一般競争入札を実施しているが、1件のみ総合評価方式となっているものがある。入札は安い価格のほうがよいと考えるが、総合評価方式は高い価格でも好ましいと考えるのか。

行政課長：総合評価方式は、企業の技術力、技術者の能力、地域への貢献度を点数化し、金額と合わせて評価値で総合的に判断する方式であります。

ご質問のように必ずしも価格が、最低でないところが落札する入札方式であります。

相原俊一議員：判断するのは、第三者なのかあるいは市の職員なのか。

行政課長：点数のつけ方につきましては、市の指名請負業者審査委員会で議論した後、県の総合評価審査委員会に点数のつけ方について意見を伺い、意見の結果をもって、もう一度、市の指名請負業者審査委員会で決定することになっております。

(2) その他

主要地方道春日井一宮線の高架下整備事業について

建設部長、都市整備課主査が説明した。

鈴木麻住議員：都市公園と聞いていたが、トイレの設置予定はあるのか。

都市整備課主査：当面、トイレの設置予定は、ありません。

鈴木麻住議員：トイレは近くにあるのか。

都市整備課主査：石仏スポーツ広場にあります。

塚本秋雄議員：駐車場として使用できると報告があるが、予想として何台駐車できる積算をしているのか。

都市整備課主査：図面の灰色部分は14台、緑色の部分は6台駐車できることを見込んで、施設全体として20台ほどを見込んでおります。

堀 巖議員：図面の灰色部分について、インラインスケートの話が出されたが、設計した人はインラインスケートを経験したことがある人なのか。手すりの部分は金属と木でできている。転ぶこともあり、突っ込んだときに非常に危険であるがどのように考えるのか。

都市整備課長：専門家でなく職員の設計により行っております。議員が言われたように転ぶことの心配があると思いますが、想定している利用者は小学校高学年を考え、小牧市のボードパークのような本格的な器具を整備した施設ではありません。当面はこの形で2段の手すりを設置して解放していく予定であります。

相原俊一議員：確認したいが、天井がある形となり、夜間にスケートボードを行うと反響があり夜間は使用しないようフェンスに施錠すると思っていた。施錠を行うのか施錠の管理はどのようにするのか。

都市整備課長：担当と議論する中で、現在24時間解放することを予定しています。

相原俊一議員：夜間時のたまり場となることも考えられる。責任を負わない旨の看板を明示するのか。

都市整備課長：責任の話になると大変難しい話になると思います。供用に当たり解放時間、防犯灯を設置についても議論もしました。夜間のたまり場とならないよう配慮して設計をしたつもりではありますが、供用しないとわ

からない部分もありますので、注視しながら、今後の対応とさせていただきたいと思います。議員から言われたような一切責任を持たない旨の看板の設置は考えておりません。

堀 巖議員：インラインスケートについて、小学校高学年であっても小牧のボードパークの場合は、変化があって器具が置いてある。平面でもスピードがでるのを知っているのか。自分も経験があるのでわかるのだが、一輪車で捕まって走らせるのはよいと思うが、インラインスケートをしている地元の子どもの意見が拾われていないような気がするがどうなのか。

都市整備課長：インラインスケートをしている子どもからの意見を聞いておりません。手すりの高さは一輪車の練習をする高さを一定の確認をしながら設計を進めましたが、ご質問のような聞き取りを行わず設計をしました。

大野慎治議員：私の子どもも昨年度まで小学生であったが、インラインスケートが流行していることを聞いたことがない。自転車や一輪車の練習場であるならば理解できる。緑色の部分に低学年児童用に遊具を設置することを考えていなかったのか。

都市整備課長：多目的な使用を考えております。インラインスケートに特化した設計でないことを認識しております。遊具につきましても多目的にスクリーニングスのスペースにしても広場としての利用目的を考えております。遊具の設置も考えておりません。

大野慎治議員：緑色のスクリーニングスについて低学年用と言われた。しっかりと考え方を変えて遊具を設置することで、トイレがなくても公園の機能が得られるのでないのか。今の形のままで、アスファルトの駐車場を造ったのかと言われられないように最低限理解をいただけるものを組み込むのならば理解できるが、アスファルト公園なんて聞いたことがない。最低限理解を得られるよう検討すべきでないか。

建設部長：有効に活用されなかった土地を利用できないかという発想で、土の広い場所はありますが、一輪車、自転車の練習、スケート等の利用を考えてスタートしております。しばらくこの形で運用して、市民からの議論があれば、考えなければいけないことと思いますので、現状の形でスタートしたいと思っています。

黒川 武副議長：地域への説明をしているのか。

建設部長：まだ、説明をしておりません。

黒川 武副議長：いつ頃を予定しているのか。

建設部長：まだ地元伝えておりませんが、今回案が決まりましたので、夜間の問題など現状を見つつ、問題が起きたらその場で解決する方法で実施

していきたいと思います。

堀 巖議員：私もインラインスケートをしたいと考えている。市長はバーベキューができると言われたことを記憶しているが、その考え方はどうなのか。

建設部長：ありません。

堀 巖議員：都市公園として都市公園法が適用される。施設利用において勝手なルールを作って掲示をしてほしくないが、どのように認識しているか。

建設部長：ほかの公園ともすり合わせをして実施したいと思います。夜間の使用制限について、防犯パトロールされることもあり、地元の方の意見を反映させて看板に掲げていきます。

木村冬樹議員：予算に賛成したので様子を見たいが、多目的に使用するので石仏スポーツ広場の駐車場の要望もある。使用のルールをきちんとしないと難しいと思う。スポーツ大会は土日に開催される。調整が難しいと考えられるので、きちんとしたルール作りを要望したい。

梅村 均議員：緑色のスクリーニングスのメリットはどのようなか。

都市整備課主査：ほこりが一番立ちづらいことと、普通の運動場では雨が当たらない箇所は、土の舗装をするとひび割れが発生しますが、ひび割れが起きないため、緑色スクリーニングス舗装を採用させていただきます。

宮川 隆議長：面積について、説明があったと思うが、縦と横の長さはどうなっているのか。

都市整備課主査：縦方向はおよそ 18 メートルです。横方向は緑色の部分が 27 メートル、灰色の部分が 35 メートルで合わせて 62 メートルになっております。

鈴木麻住議員：先ほどの説明ではフェンスが設置されるようだが、どのようなイメージなのか。高さはどういうふうになっているのか。

都市整備課主査：現在 1,800 のフェンスがあります。開口部はそのフェンスを外して、門扉は同じタイプを使用します。

1 1 協議事項

なし

1 2 その他

なし